

ShiriBeshi 多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト

【推進エリア】 後志地域

【主な実施主体】 国、道、市町村、民間、NPO

目 的

国内外からの観光客が多く訪れているニセコ周辺地域では、冬季間のみスキー場やホテル等の関連施設の就業者が多数存在しており、こうした豊富な労働力を、農林水産業をはじめとする夏季に人手不足となっている業種とマッチングするなど、短期滞在者の通年雇用化による産業の担い手確保や、道内外や国外からの移住・定住を促進するため、関係機関が連携して就業支援や人材育成への支援を行います。

また、年間を通して外国人が多く滞在するという環境を活かし、国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材を育成し、地域における観光ビジネスや世界を相手に活躍できる人材育成に取り組むとともに、ワーケーションの推進などによる関係人口の創出・拡大や、増加する外国人住民とともに地域づくりを進めることで、多文化共生社会の実現に向けた「まち・ひと・しごと」づくりの取組を推進していきます。

施策展開

- 【施策】
- 冬季のリゾート地域の労働力を夏季の農業等における人手不足分野に結びつけることを通じて、通年雇用化等による定住を推進
 - 年間を通じて多くの外国人が滞在する環境を活かした国際感覚やコミュニケーション能力を備えたグローバル人材の育成・多文化共生の推進

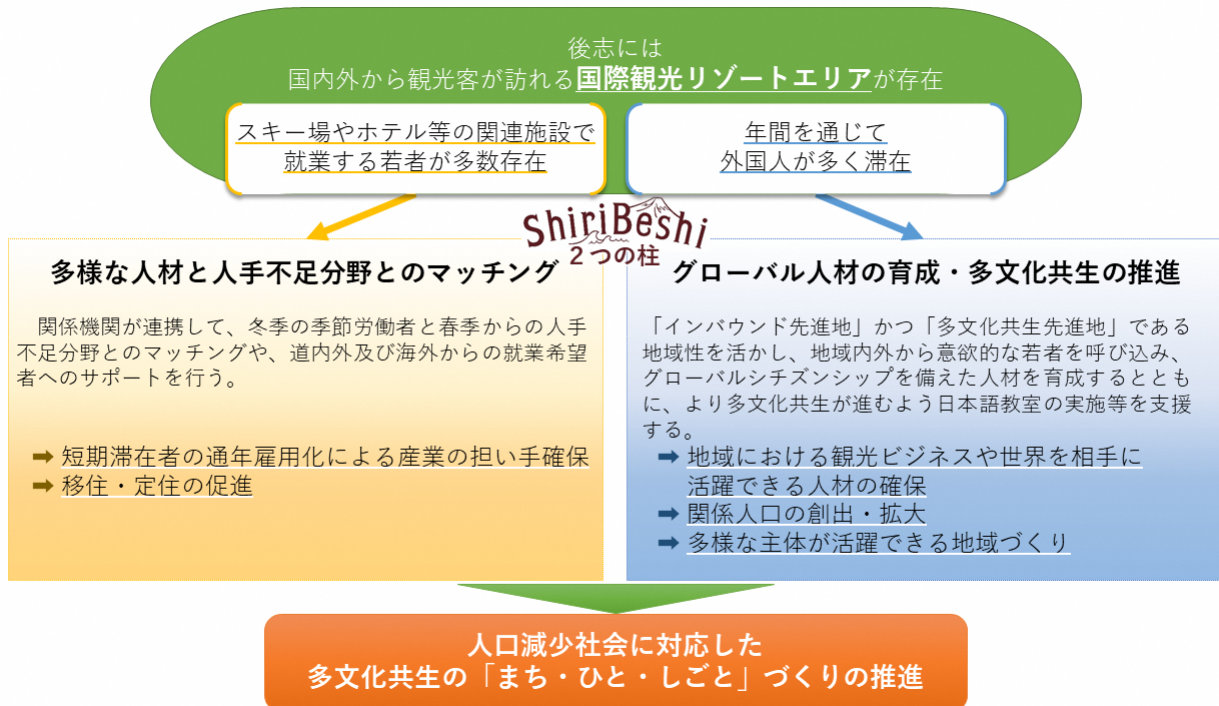
〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI*）〉

- 管内就職件数（ハローワーク） 2,694件（R01）→ R01実績以上（R07）
- 管内外国人住民数 3,447人（R02）→ 5,200人以上（R07）

<施策ごとの主な取組方向>

- 冬季のリゾート地域の労働力を夏季の農業等における人手不足分野に結びつけることを通じて、通年雇用化等による定住を推進
 - 無料職業紹介所の開設による就業相談の実施
 - 移住フェアなど後志をPRする場への出展等
 - 通年滞在に必要な情報を総合的に提供するワンストップ窓口の設置

- 年間を通じて多くの外国人が滞在する環境を活かした国際感覚やコミュニケーション能力を備えたグローバル人材の育成・多文化共生の推進
 - 多文化共生に向けた多様な主体の交流機会や英語実践機会等の創出
 - 外国人とのコミュニケーション等を通じた人材育成
 - 外国人住民向け日本語教室の実施等の支援



脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト

【 推進エリア 】 胆振地域

【 主な実施主体 】 国、道、市町村、民間、NPO

目 的

胆振地域は、鉄鋼や自動車関連などの「ものづくり産業」が集積する産業拠点があり、国際拠点港湾や近隣に道内最大の空港を有した本道経済をリードする地域である一方、豊かな自然環境に恵まれ、太陽光や風力、バイオマス、地熱といった豊富に賦存する多様なエネルギー源の活用のほか、水素の活用や二酸化炭素の分離・回収・貯蔵に関する実証試験など、脱炭素型社会の実現に向けた取組を積極的に進めている地域です。

こうした胆振の地域特性を活かし、「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、本道の脱炭素化をリードするとともに、産業の持続的な発展に取り組みます。

施策展開

- 【施策】
- 多様なものづくり産業拠点の形成促進
 - 産官学金連携などによる地域の強みを活かした産業の振興
 - 再生可能エネルギーの普及や自然環境の保全などによる脱炭素化の取組推進

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI）〉

- 道企業立地促進費補助金認定申請数 5件（R2）→ 10件（R7）
- 製造業の付加価値生産性 1,438万円（H30）→ 1,805万円（R7）
- 従業員数4～29人の事業所における常用雇用者数
4,340人（H30）→ 4,800人（R7）
- 電気自動車、燃料電池車、天然ガス自動車、プラグインハイブリット自動車の
合計台数（室蘭運輸支局管内） 601台（R1）→ 1,500台（R7）
- 新エネルギー導入率（発電設備容量） 86.7万kW（R2）→ 122.2万kW（R7）
- 間伐の実施面積 6,590ha（H27～R1累計）→ 9,100ha（R3～R7累計）

＜施策ごとの主な取組方向＞

- 多様なものづくり産業拠点の形成促進
 - ものづくり産業拠点の重層化
 - 自動車関連企業などの立地促進
 - 脱炭素社会構築を通じた新たな産業・雇用の創出
- 産官学金連携などによる地域の強みを活かした産業の振興
 - 地域の伝統、先端技術の集積等の地域の強みを活かした産業の振興
 - 脱炭素社会構築を通じた新たな産業の育成・振興
 - 恵まれた物流アクセス環境を活かした移輸出拡大

- 再生可能エネルギーの普及や自然環境の保全などによる脱炭素化への取組促進
 - 太陽光、風力などの再生可能エネルギーや水素エネルギーの活用に向けた機運醸成
 - 脱炭素型のライフスタイルやビジネススタイルへの転換に向けた普及啓発
 - 地域住民や企業との協働による自然環境の保全に向けた取組の促進
 - 計画的・効率的な造林や間伐、地域材の利用拡大など森林資源の循環利用の推進



関連する主な基盤整備

- 物流ネットワーク形成のための道路網の整備
 - ・ 高規格道路と一体となった道路網の整備促進
- 産業拠点の形成に向けた施設の整備
 - ・ 地域の優位性を活かした企業立地を一層促進するための基盤整備
- 自然豊かな水辺環境の整備・保全
 - ・ 環境に配慮した河川・砂防施設などの整備促進
- 健全な森林の整備と保全の推進
 - ・ 森林の有する多面的機能を高度に発揮させるための森林の整備促進

住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト

【推進エリア】胆振地域

【主な実施主体】国、道、市町村、民間、NPO

目的

胆振地域には、北海道いぶり五大遺産（洞爺湖有珠山ジオパーク、アイヌ文化、縄文遺跡群、むかわ竜、炭鉄港）、ウポポイ、日本有数の温泉地など特色ある豊かな地域資源があります。こうした地域の強みを活かし、関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、新鮮・多彩な食材の魅力発信や販路拡大に取り組みます。

また、地域の未来を支える人材の確保・育成や、胆振東部地震からの着実な復旧と未来へつなぐ復興を進め、住みたい・訪れたい地域づくりを推進します。

施策展開

- 【施策】
- 地域資源を活用した関係人口の創出・拡大
 - 地域の豊かな食材の魅力発信や販路拡大
 - 地域の未来を支える人材の確保・育成
 - 胆振東部地震からの復旧・復興の推進

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI※）〉

○管内への観光入込客数	(※R2年度の最新数値を参考に今後設定)
○地域おこし協力隊の隊員数	53名(R2) → 59名(R7)
○食品工業の付加価値額	268億円(H30) → 287億円(R7)
○新規就農者	98人(H28～R2累計) → 121人(R3～R7累計)
○新規漁業就業者	103人(H28～R2累計) → 113人(R3～R7累計)
○新規林業参入者数	34人(H27, H29, H31累計) → 35人(R3, R5, R7累計)
○新規高卒者の管内就職内定率	71.8%(R2) → 73.0%(R7)

〈施策ごとの主な取組方向〉

- 地域資源を活用した関係人口の創出・拡大
 - 豊富な地域資源（北海道いぶり五大遺産、ウポポイ、食資源等）のさらなる磨き上げ及び情報発信の強化
 - ウポポイ開設効果の持続発展と広域連携による周遊観光の促進
 - 北海道いぶり五大遺産の活用による教育旅行の誘致やアドベンチャートラベルなどの体験型観光の促進
 - いぶり型ワーケーションの取組による関係人口の創出・拡大
 - 地域おこし協力隊等との連携による移住・定住の促進
 - 岩手県三陸地域との交流を通じた取組の推進

■ 地域の豊かな食材の魅力発信や販路拡大

- ICT 技術の利活用による新鮮・多彩な一次製品の生産・流通の促進
- 特色ある食材を活かした商品・メニュー開発及びブランド化の推進、国内外への販路拡大

■ 地域の未来を支える人材の確保・育成

- 関係機関が連携した人材確保対策の推進、就業体験機会等を通じた地域産業の魅力発信
- 管内企業の技術力の情報発信等による産業の担い手確保・育成
- すべての子どもたちが健やかに育つことができる環境づくり
- ふるさとへの誇りと愛着を育むふるさと教育の推進

■ 胆振東部地震からの復旧・復興の推進

- 地域産業の持続的な振興をはじめとした、復旧・復興方針に基づく取組の推進
- 移住・定住の取組の推進や、地域資源の磨き上げ・活用による被災地域への人の呼び込み強化

いぶり 地域へ

「住み続けたい」、「訪れたい」

地域資源を活用した関係人口の創出・拡大

北海道いぶり五大遺産

地域の未来を支える人材の確保・育成

地域の豊かな食材の魅力発信や販路拡大

胆振東部地震からの復旧・復興の推進

関連する主な基盤整備

- 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備
 - ・水田・畑・草地や農業用施設の整備推進
- 農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備
 - ・農地や農業用施設の機能回復
 - ・農地及び農業用施設の災害を未然に防止するための施設の整備推進
- 水産物供給基地としての漁港・漁場づくり
 - ・漁港、漁場などの整備促進
- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
 - ・観光拠点へのアクセス道路の整備

「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト

【推進エリア】日高地域

【主な実施主体】国、道、町、民間

目的

日高地域は全国生産の約8割を占める軽種馬生産に加え、全道一の生産を誇るトマトやピーマンのほか、イチゴ、肉用牛、コンブ、鮭（銀聖）、ウニ、マツカワなど様々な農水産物が生産されています。また、人工林の大半を占めるカラマツ・トドマツが利用期を迎えています。

このような恵まれた農林水産物の生産振興対策を図るとともに、「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大に取り組みます。

施策展開

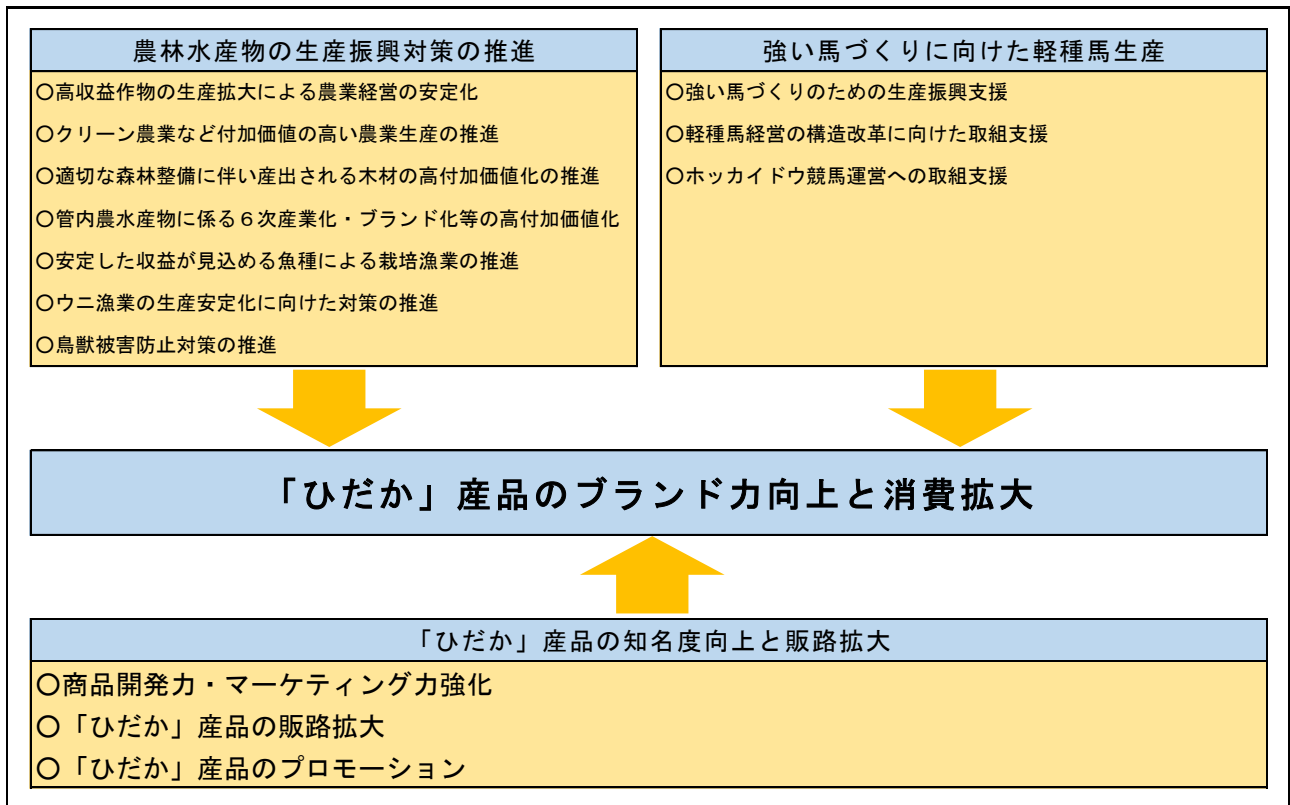
- 【施策】
- 農林水産物の生産振興対策の推進
 - 「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大
 - 強い馬づくりに向けた軽種馬生産

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI[※]）〉

○ウニの単価向上 8,600 円/kg (R1) → 14,100 円/kg (R7)

＜施策ごとの主な取組方向＞

- 農林水産物の生産振興対策の推進
 - 高収益作物の生産拡大による農業経営の安定化
 - クリーン農業など付加価値の高い農業生産の推進
 - 適切な森林整備に伴い産出される木材の高付加価値化の推進
 - 管内農水産物に係る6次産業化・ブランド化等の高付加価値化
 - 安定した収益が見込める魚種による栽培漁業[※]の推進
 - ウニ漁業の生産安定化に向けた対策の推進
 - 鳥獣被害防止対策の推進
- 「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大
 - 商品開発力・マーケティング力強化
 - 「ひだか」製品の販路拡大
 - 「ひだか」製品のプロモーション
- 強い馬づくりに向けた軽種馬生産
 - 強い馬づくりのための生産振興支援
 - 軽種馬経営の構造改革に向けた取組支援
 - ホッカイドウ競馬運営への取組支援



関連する主な基盤整備

- 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備
- 水産物供給基地としての漁港・漁村づくり
 - ・漁港整備
- 水産資源の増大等に向けた施設づくり
 - ・増殖場の造成、漁場の整備
- 健全な森林整備と保全の推進
- 高規格道路[※]の整備
 - ・日高自動車道の整備促進

「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト

【推進エリア】日高地域

【主な実施主体】国、道、市町村、民間

目的

日高地域では、地域を支える基幹産業である一次産業をはじめとする各産業で人材不足が課題となっています。

これらの課題に対応するため、各産業における人材確保・育成の対策を講じるほか、将来の人材を確保するため、教育機関と連携・協働を進めるとともに、移住・定住の促進に向けた住環境の整備により転出の抑制や転入の増加を図り、持続可能な産業振興を目指します。

施策展開

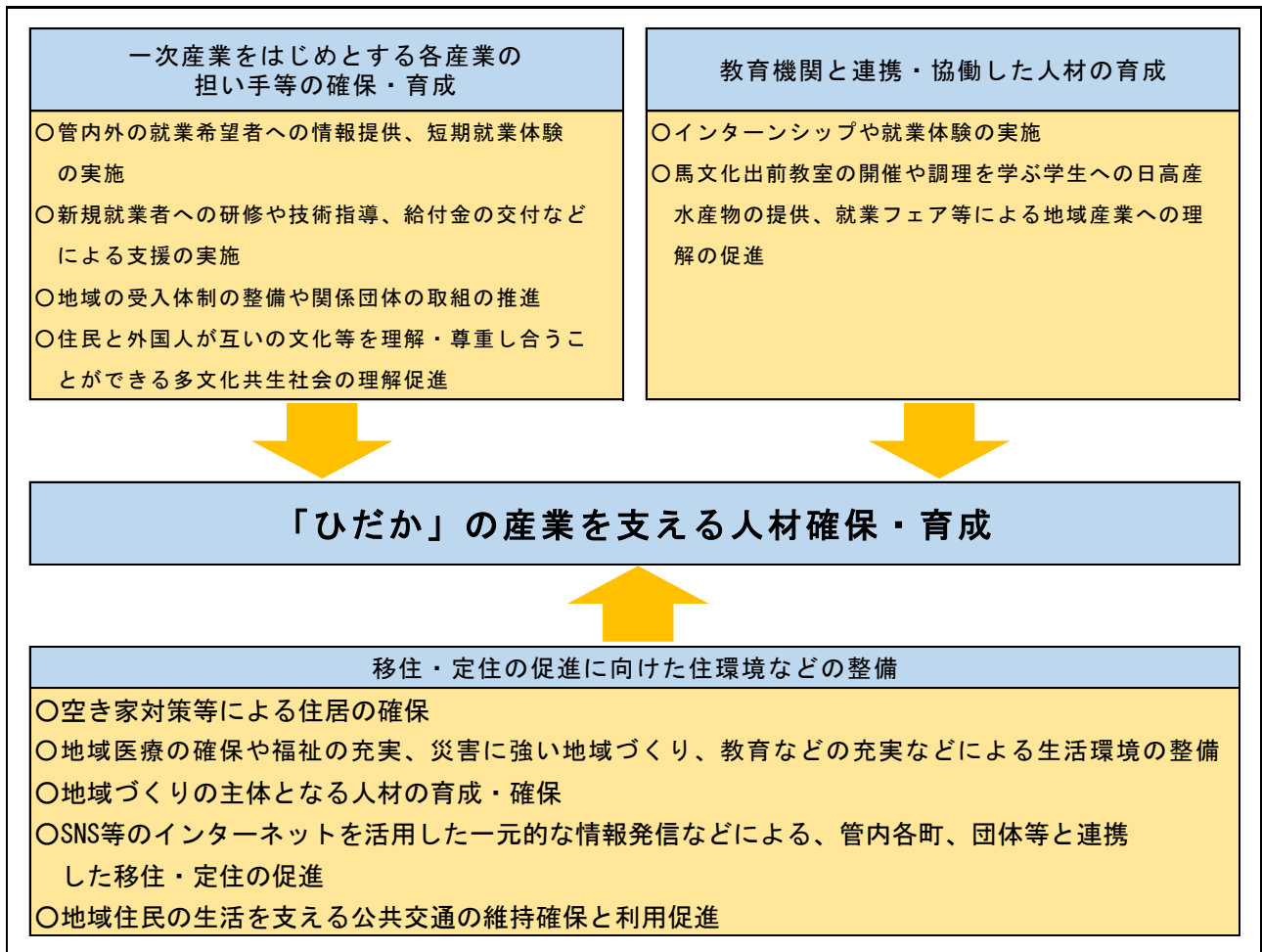
- 【施策】
- 一次産業をはじめとする各産業の担い手等の確保・育成
 - 教育機関と連携・協働した人材の育成
 - 移住・定住の促進に向けた住環境などの整備

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI※）〉

○新規就業者数（農業）	14人（R1）	→	25人（R7）
○新規就業者数（漁業）	11人（R2）	→	14人（R7）

＜施策ごとの主な取組方向＞

- 一次産業をはじめとする各産業の担い手等の育成・確保
 - 管内外の就業希望者への情報提供、短期就業体験の実施
 - 新規就業者への研修や技術指導、給付金の交付などによる支援の実施
 - 地域の受入体制の整備や関係団体の取組の推進
 - 住民と外国人が互いの文化等を理解・尊重し合うことができる多文化共生社会の理解促進
- 教育機関と連携・協働した人材の育成
 - インターンシップや就業体験の実施
 - 馬文化出前教室の開催や調理を学ぶ学生への日高産水産物の提供、就業フェア等による地域産業への理解の促進
- 移住・定住の促進に向けた住環境などの整備
 - 空き家対策等による住居の確保
 - 地域医療の確保や福祉の充実、災害に強い地域づくり、教育などの充実などによる生活環境の整備
 - 地域づくりの主体となる人材の育成・確保
 - SNS等のインターネットを活用した一元的な情報発信などによる、管内各町、団体等と連携した移住・定住の促進
 - 地域住民の生活を支える公共交通の維持確保と利用促進



関連する主な基盤整備

- 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備
- 水産物供給基地としての漁港・漁村づくり
 - ・漁港整備
- 水産資源の増大等に向けた施設づくり
 - ・増養殖場の造成、漁場の整備
- 健全な森林整備と保全の推進
- 高規格道路の整備
 - ・日高自動車道の整備促進

「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト

【推進エリア】日高地域

【主な実施主体】国、道、町、民間

目的

日高地域は、軽種馬生産による広大な牧場風景に加え、ユネスコ世界ジオパーク*のアポイ岳や、国立公園化が予定されている日高山脈襟裳国定公園、日高山脈から襟裳岬に連なる変化に富んだ海岸線が一体となった独特な景観が見られるなど、豊かな自然環境を有しています。また、アイヌ文化が継承され、多様な食材の宝庫となっています。

これらの優れた地域資源を最大限活用し、民間事業者等とも連携しながら、「ひだか」ならではの魅力発信、広域観光の展開などにより、地域の活性化を図ります。

施策展開

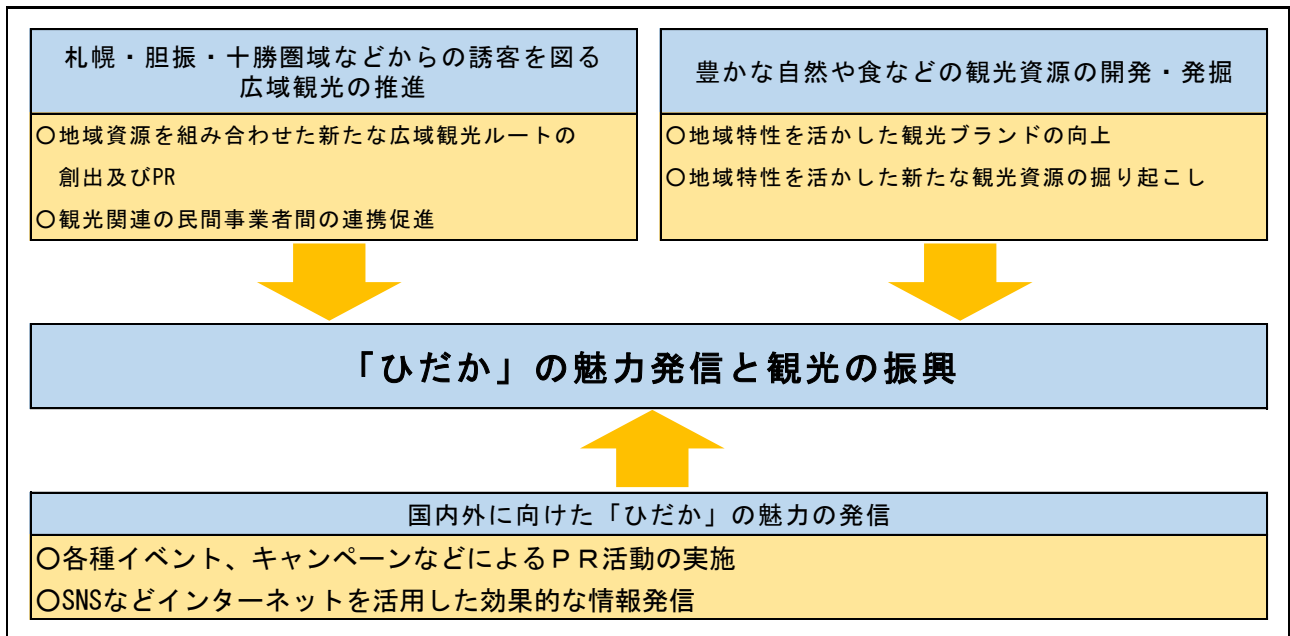
- 【施策】
- 札幌・胆振・十勝圏域などからの誘客を図る広域観光の推進
 - 豊かな自然や食などの観光資源の開発・発掘
 - 国内外に向けた「ひだか」の魅力の発信

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI*）〉

○宿泊客延数 230千人（R1）→266千人（R7）

＜施策ごとの主な取組方向＞

- 札幌・胆振・十勝圏域などからの誘客を図る広域観光の推進
 - 地域資源を組み合わせた新たな広域観光ルートの創出及びPR
 - 観光関連の民間事業者間の連携促進
- 豊かな自然や食などの観光資源の開発・発掘
 - 地域特性を活かした観光ブランドの向上
 - 地域特性を活かした新たな観光資源の掘り起こし
- 国内外に向けた「ひだか」の魅力の発信
 - 各種イベント、キャンペーンなどによるPR活動の実施
 - SNS*などインターネットを活用した効果的な情報発信



関連する主な基盤整備

- 高規格道路^{*}の整備
 - ・日高自動車道の整備促進
- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
 - ・日高自動車道の整備促進
 - ・道道の整備促進